

## 契約理由書

1. 業務件名 令和7年度大野川水系治水計画検討業務
2. 履行場所 大野川流域
3. 契約の相手方 住 所：福岡市中央区大名 2-4-12 CTI 福岡ビル  
会社名：株式会社建設技術研究所 九州支社  
電 話：092-714-2211
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び  
予算決算及び会計令第102条の4第三号

### 5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

#### 1) 当該業務の目的

本業務は、大野川の気候変動を考慮した河川整備計画変更（令和8年3月策定予定）に伴った整備内容の具体的な検討及び多段階浸水想定図、水害リスクマップの作成を行う業務である。

#### 2) 業務の内容

計画準備、資料収集整理、現況河道の安全度評価、河道計画検討、海岸・港湾計画との整合性検討、内外水一体の多段階浸想図、水害リスクマップの作成、電子データ作成、報告書作成

#### 3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を26者が入手(ダウンロード)し、2者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に、「実施方針・実施フロー・工程表・その他」の「業務理解度」における目的、条件、内容が的確に記載されていること、「実施手順」における実施フローの工夫が記載されていること、「その他」有益な代替案、重要事項の指摘が記載されていること、及び評価テーマの「河川環境、河道管理を踏まえて河川整備計画河道を検討するうえでの留意点について」に対する技術提案について、与条件との整合性が高く、着眼点、問題点、解決方法等が理論的に整理され、説得力があり、提案を裏付ける内容が十分に示されており、最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

大分河川国道事務所 流域治水課長